

令和 4 年度 まちづくり移動町長室 開催結果概要

にのみやみんなにやさしい ごはんプロジェクト

日 時：令和 5 年 3 月 2 日(木)17:00～18:00
場 所：役場 2 階 第一会議室
参加者：6 名

団体の活動概要について

参加者	<p>当団体は、小中学校給食の野菜を有機・無農薬にしたいという保護者の思いで 2 年前に始めた有志の団体である。</p> <p>無農薬であることだけでなく、地産地消や環境保全にも関わる、広い意味で食育力の高い給食を提供していただきたいという思いで活動している。</p> <p>活動としては、定例の勉強会や年数回の給食センター試食会のほか、給食に係る映画上映の実施やエコフェスタにも参加した。</p> <p>また、先月には二宮産の原木しいたけを学校給食で提供することができた。</p>
-----	---

オーガニック給食の推進について

参加者	公約にオーガニック給食の実施とあったが、今後どのようにオーガニック給食を取り入れていくのか。
町長	オーガニックと一言で言っても様々な括りがある。国の基準(有機 JAS 規格)にこだわると推進するのは厳しいと考えている。 無農薬や低農薬、地場産品等、利用できる食材から取り組んでいきたい。
教育長	『オーガニック』についての認知を子どもたちに広めていく必要はある。しかし、町内の小中学校では、毎日約 2,000 食を提供しており、価格の問題もありオーガニック食材で供給量を調達するのは難しい。1 学期に 1 回程度取り入れ、食育につながるよう進めたい。 また、町内産野菜の使用については、有機栽培や無農薬にこだわらず、現状で使用している 4 品目(しいたけ、玉ねぎ、サツマイモ、菜の花)から 8 品目を目指して推進していく。
参加者	4 年間で 8 品目にするというイメージか。
教育長	町内産だけで供給量分を調達できる野菜の品目を把握していないので、まずは現在の倍の品目の使用を目標としていきたい。
町長	町内産の野菜だけにこだわると調達するのは難しいと思うので、県内まで枠を広げれば目標に近づいていくと思う。
参加者	まずは湘南地区で連携する等、できる範囲で地産地消を広げていただきたい。 また、当会としても遠くの有機 JAS より地場産が優先と考えているが、参考までに調味料から有機・無農薬に変えるという方法を取り入れている自治体もある。
教育総務課	調味料の地産地消について認識はなかった。今後使用できる地産の調味料について調査する。

『オーガニック』『無農薬』の認知の広め方について

参加者	2/13に原木しいたけを給食に使用していただいたが、給食の案内チラシでオーガニック・無農薬について案内するのは難しいという事だった。今後どのようにオーガニック給食を進めていくのか。
教育長	2/13は、かながわ産品学校給食デー献立の一環で使用した。普段から安全な食材を使用しているので、今回は『手間と愛情をかけた、自然にやさしい栽培方法』と表現させていただいた。
参加者	農薬を使用しているものが全て危険だという認識ではないが、子どもたちも農薬を使用しているものと、使用していないものがあるということを知る権利がある。
町長	オーガニックや農薬について、学習しないと興味が向かないのは子どもも同様。学校給食を通じて、今後の取り組みの意味するところは丁寧に説明する必要があると思っているが、学校に頼らず『ごはんプロジェクト』でも周知していくのが良いのでは。
参加者	認知を広める方法については一緒に考えていきたいと思う。

オーガニック給食等に伴う財源について

参加者	給食の無償化とオーガニック給食はどのように両立していくのか。
町長	段階的に給食を無償化していきたいが、財源を確保しなければならない。小・中学校のどちらから無償化するかを算段している所である。 本来は給食費を値上げしなければならないような状況である。
参加者	低価格でオーガニック野菜を購入し、農業者に負担がかかるようでは持続可能な農業ではない。適正価格で購入できるようにオーガニック給食用の予算を増やすか、オーガニックや無・低農薬の農業者へ補助金が必要と考える。
産業振興課	基本的に農業者が無農薬栽培を実施する際には国からの補助等がある。町内の農業者がこの補助を受けるためには県の計画が必要となる。現在、受けるための県の計画は無いが、これから作るという情報があるので、国・県の動向を確認していく。

給食時の黙食等について

参加者	現在、子どもたちは給食をどのように食べているのか。
町長	以前のように向き合っておらず、前を向いて食事をとっている。
参加者	いつ頃、以前のようなグループでの給食に戻るのか。黙食やマスクの着用によるコミュニケーション不足を心配している。
教育長	まだ新型コロナウイルス感染症について心配な保護者もいるので、徐々に戻していくことになると思う。
町長	これからマスクは各自の判断で、外すことができるようになるので、もう少し時間をいただきたい。
参加者	先生方等でマスクを外せる方は外していくよう進めてほしい。
教育長	現場の先生方と調整していく。